

京都景観エリアマネジメント講座

「景観」という概念を理解するためには、地域の歴史や文化、経済、人々の暮らし方など、さまざまな情報を読み取り、考えることが必要です。景観を構成する要素を多様な観点から学び、実習を通して考えることで、景観とまちづくりへの関わり方を身につけます。

講義内容

- (2021年7月～2022年2月/月1回開催)
- 第1回 基礎理論1 景観とは何か?
 - 第2回 基礎理論2 景観のマネジメント
 - 第3回 景観と都市形成
 - 第4回 まちとまちなみ
 - 第5回 公共空間のデザイン
 - 第6回 京の生活文化
 - 第7回 自然資源と観光資源の活用
 - 第8回 景観まちづくり

第1回 基礎理論1 景観とは何か?

7月10日(土) 講義 堀 繁氏
10:00～16:30

第2回 基礎理論2 景観のマネジメント

8月21日(土) 講義 宗田 好史氏
10:00～16:30 ワークショップ

詳しいカリキュラム・日程は
京都景観フォーラム
WEBサイトに掲載中



受講料 講座リニューアル記念 特別価格

- 通年受講(全8回)：一般 **45,000円** / NPO会員 **40,000円** (年会費3,000円で新規会員登録可)
 - 単発受講(講義科目のみ)：1講義あたり **4,000円** (第1回の講義のみ5,000円)
- 学生(大学院、大学、専門学校など)は通年受講・単発受講ともに **半額**で受講可能!

定員 **40名** (定員に達し次第締め切りとさせていただきます)

申込・問合せ NPO法人 京都景観フォーラム

TEL: 075-354-5224 FAX: 075-491-9663

MAIL: kkf@kyotokeikan.org

会場 京都市景観・まちづくりセンター

京都市景観・まちづくりセンターの活動について

市民・企業・行政によるパートナーシップのまちづくりを推進し、京都らしい景観の保全・創造、質の高い住環境の形成などに取り組んでいます。住民の自主的な活動を支援し、まちづくり活動の拠点として、まちづくりに関する各種の相談に対して助言および情報提供を行っています。

まちづくり相談

地域の状況に応じたまちづくりの進め方について、活用できるまちづくりの制度や他の地域の取組事例などの様々な情報をご紹介するほか、まちづくりの専門家の派遣や、活動費助成(一部)などの支援を行っています。

京町家なんでも相談

京町家の維持・継承に伴う様々な悩みや不安の解消に向けて、様々な情報をご紹介するほか、専門的な内容については、大工・建築士・不動産事業者などの専門家と連携した支援を行っています。

賛助会員募集

当財団の活動趣旨に賛同していただける方を賛助会員として募集しています。会費は、まちづくり活動の支援、京町家の保全、再生に向けた取組、当財団の運営等に活用させていただきます。

年会費 個人1口 5,000円 / 団体1口 50,000円 特典 ニュースレター

メルマガ会員も募集中。ホームページからご登録いただけます。

※賛助会費は、当財団への寄付金として税法上の優遇措置が適用され、確定申告により所得税・法人税の控除が受けられます。

問合せ先 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
(河原町五条下る東側)「ひと・まち交流館 京都」地下1階
TEL:075-354-8701 FAX:075-354-8704
Eメール:machi.info@hitomachi-kyoto.jp

URL: <http://kyoto-machisen.jp>

まちセン 京都

- 交通機関
- バス 市バス4,17,205号系統「河原町正面」下車
 - 電車 京阪電車：「清水五条」又は「七条」下車 徒歩8分
地下鉄烏丸線：「五条」下車 徒歩10分
 - 車 立体駐車場(最初の1時間410円、以降30分ごとに200円 / 45台程度)
※できるかぎり公共交通機関をご利用ください。



大学 景観・まちづくり

令和3年度
春季

令和3年度
景観・まちづくり
大学 春季



景観・まちづくり大学は、京都の景観・まちづくりについて多様な視点から学び、考え、実践へとつないでいくことのできる人材を育むことを目指しています。京都らしい美しい景観や、住みよいまちを未来に引き継いでいくために、明日の京都のまちづくりを担う皆さまの活動を応援します。元気なまちへの第一歩、あなたから始めませんか。

春季 セミナースケジュール

京のまちづくり史連続講座 有料

- 5月28日(金) 京都観光まちづくりの近現代、インバウンド再生をイタリアと京都から考える
- 6月25日(金) 伏見市の京都市編入の要因と影響
- 7月9日(金) 近代の絵葉書から見る嵐山の景観特性

京町家再生セミナー 有料

- 5月21日(金) 大正から昭和初期の京町家の発展
- 6月26日(土) 亀屋町萬年荘 一職住一体の住まいづくり

京都市景観・まちづくりセンターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として、センター入口での消毒液の設置、通常より広い座席間隔の確保、適切な換気などを行います。また、ご参加の皆さまには、マスクの着用をお願いいたします。

令和3年度 景観・まちづくり 大学 春季

申込方法

- ①オンライン(ZOOM)受講される方
右記の2次元コードよりお申し込みください。
- ②当センター内会場で受講される方
下記連絡先よりお申し込みください。



PassMarketの
HPへリンクします

申込先 京都市景観・まちづくりセンター
電話 075-354-8701 FAX 075-354-8704
Eメール machi.info@hitomachi-kyoto.jp

受付時間：月～土 9:00～21:30、
日・祝 9:00～17:00
休館日：毎月第3火曜日
(祝日にあたる場合は翌日)
※おかけ間違いにご注意ください。

- ※申込の際、**セミナー名、氏名(ふりがな)、電話番号、メールアドレス**をお知らせください。
- ※申込多数により抽選の結果、参加不可の際に当センターから連絡いたします。
- ※**申込後のキャンセルは、参加方法によって手続きが異なります。詳細は当センターまでお問い合わせください。**
- 申込受付期限後でも、定員に達していないセミナーは受講を受け付けますので、当センターまでお問い合わせください。
- ※オンライン(ZOOM)受講される方は、利用環境をご自身でご用意ください。

CPD：景観・まちづくり大学は、建築士会CPD制度認定プログラムです。
建築士等、専門家の方々もぜひご参加ください。

問合せ先 京都市景観・まちづくりセンター
共催 京都市都市計画局まち再生・創造推進室

京のまちづくり史連続講座 受講料等：1講座1,010円(学生500円)

まちづくり活動に関わる方、関心がある方、学んでいる方を対象に、京都のまちづくりに取り組むうえでの基礎を体系的に学ぶ全9回の連続講座です。

京都のまちがどのように成り立ち現在に至ったか、様々な時代背景の中での人々の営みや、その中で育まれたまちづくりの知恵を学び、見識を深めることで、これからの京都の景観・まちづくりに役立ちます。

京都観光まちづくりの近現代、インバウンド再生をイタリアと京都から考える

定員50名 (申込多数の場合は抽選)
申込受付開始：3月29日(月)
申込受付期限：5月25日(火)

講師 宗田 好史氏
(京都府立大学 文学部 和食文化学科教授)

日時 5月28日(金) 19:00～20:30

会場 オンライン(ZOOM)開催
※オンラインでの参加が難しい方は、当センター内会場(ワークショップルーム)にて受講いただけます。(10名限定)

近年の京都はオーバーツーリズムに悩まされました。現在は新型コロナウイルス感染症でインバウンドは途絶えていますが、コロナ禍を乗り越えた先、同様の問題を再燃させてはなりません。一方イタリアでは、海外からの観光客急増の局面を何度も経験しましたが、その度に新たな仕組を整えることで文化観光のまちづくりを進めました。京都の長い観光の歴史でも同様の経験があります。

本講座では、イタリアと京都の観光政策を、文化交流を通じたまちづくり活動ととらえ、戦前戦後の京都観光を振り返り、アフターコロナの京都の観光戦略を考えます。

伏見市の京都市編入の要因と影響

定員50名 (申込多数の場合は抽選)
申込受付開始：3月29日(月)
申込受付期限：6月23日(水)

講師 小野 芳朗氏
(京都工芸繊維大学 理事・副学長)

日時 6月25日(金) 19:00～20:30

会場 オンライン(ZOOM)開催
※オンラインでの参加が難しい方は、当センター内会場(ワークショップルーム)にて受講いただけます。(10名限定)

京都と伏見は元来別のまちとして形成され、明治期になってもそれぞれ別の自治体として成立しました。しかし1929(昭和4)年に伏見市が成立したわずか2年後、伏見市は京都市伏見区として京都市に吸収されました。その背景には宇治川派流埋立事業等、様々な要因があることが明らかになっています。

両市にどのような意図があったのか、またそれが新・京都市にどのように影響したのか探ります。

令和3年度 京のまちづくり史連続講座 通年受講 募集中!

京のまちづくり史連続講座では、通年受講の申込を受け付けております。今年度は「近現代の京都のまちづくり」をテーマに、例年とは趣向を変えた内容となっております。単回ごとの申込よりお得になっておりますので、ぜひお申し込みください。

※欠席した回、ならびに中止となった回があった場合でも返金はできません。ご了承ください。

受講料等 全9回 5,090円(学生2,540円)

申込方法 ①オンライン受講
チラシ上部の2次元コードを読み込み、**通年受講用フォーム**よりお申し込みください。
②当センター内受講
チラシ上部の連絡先よりお申し込みください。

開催日	テーマ	講師
5月28日(金)	京都・イタリアの観光史	宗田 好史氏(京都府立大学教授)
6月25日(金)	伏見市の京都市編入	小野 芳朗氏(京都工芸繊維大学理事・副学長)
7月 9日(金)	絵葉書から見る嵐山	深町 加津枝氏(京都大学大学院准教授)
8月 6日(金)	建物疎開	川口 朋子氏(京都大学特定助教)
9月24日(金)	近代の都市水害	谷端 郷氏(北海学園大学講師)
11月26日(金)	京料理と「菜園都市」京都	並松 信久氏(京都産業大学教授)
12月10日(金)	近代四条通の商業集積	渡邊 秀一氏(佛教大学教授)
1月28日(金)	京都市総合計画	阿部 大輔氏(龍谷大学教授)
2月25日(金)	デジタル資料と町並み	矢野 桂司氏(立命館大学教授)

近代の絵葉書から見る嵐山の景観特性

定員50名 (申込多数の場合は抽選)
申込受付開始：3月29日(月)
申込受付期限：7月 6日(火)

講師 深町 加津枝氏
(京都大学大学院 地球環境学学准教授)

日時 7月9日(金) 19:00～20:30

会場 オンライン(ZOOM)開催
※オンラインでの参加が難しい方は、当センター内会場(ワークショップルーム)にて受講いただけます。(10名限定)

各地の風光明媚な景色を写した絵葉書は、多くの人に親しまれてきました。絵葉書から得られる情報は写った対象物のみならず、撮影場所も重要な要素であり、それらは撮った人の当時の価値観を映すものだと考えられます。

本講座では嵐山を流れる大堰川を写した明治後期～戦前に印刷された絵葉書から、当時の嵐山の人々が目指した景観像、そしてこれからの嵐山のあるべき姿を探ります。

京町家再生セミナー 受講料等：1講座500円

京町家の所有者や居住者、具体的に京町家の居住や活用を検討している方向けのセミナーです。年間を通して、京町家の歴史や文化、改修の手法、相続、資金調達、活用方法など、今すぐ役立つ京町家の保全・再生に関する様々な専門知識をわかりやすく学びます。

大正から昭和初期の京町家の発展

定員50名 (申込多数の場合は抽選)
申込受付開始：3月29日(月)
申込受付期限：5月19日(水)

講師 中川 等氏
(大阪産業大学建築・環境デザイン学科准教授)

日時 5月21日(金) 18:30～20:30

会場 オンライン(ZOOM)開催
※オンラインでの参加が難しい方は、当センター内会場(ワークショップルーム)にて受講いただけます。(10名限定)

時代とともに少しずつ変化を遂げてきた京町家。特に大きく姿を変えたのは大正から昭和初期であり、現在まちなかで見ることができる京町家の多くは、この時期に建設されたものです。

近代社会の発展の中で、京都の都市住宅が目指したものはなにか。それは人々の住環境や、都市の景観にどのような影響を与えたのか。大正から昭和初期の京町家の軌跡を追います。

亀屋町萬年荘 ―職住一体の住まいづくり

定員50名 (申込多数の場合は抽選)
申込受付開始：3月29日(月)
申込受付期限：6月23日(水)

講師 荒川 朱美氏
(有限会社テクトスタジオ 取締役、京都芸術大学教授)

日時 6月26日(土) 14:00～16:00

会場 オンライン(ZOOM)開催
※オンラインでの参加が難しい方は、当センター内会場(ワークショップルーム)にて受講いただけます。(10名限定)

下京区の修徳元学区にある京町家を拠点に活動する講師をお迎えして、建築設計事務所兼住まいとして改修した、築100年を超える京町家での、くらしと仕事についてうかがいます。

地域に根差す職住一体のくらしと活動、そしてその器となる京町家。京都のまちと京町家ならではの住まいづくりと住まい方について、ご自身の経験をもとにお話しいただきます。

